

メモリアル
パーク
震災
アル

笑顔の傘 神戸で満開



笑顔の写真が印刷された傘を一斉に開く近藤穂花さん(中央)ら「メリーアンブレラプロジェクト」の参加者
＝9日、神戸市の神戸港震災メモリアルパーク

世界各地で撮影した子どもの笑顔を印刷した傘を広げ、希望と平和のメッセージを発信するアートイベント「メリーアンブレラプロジェクト」が9日、神戸港震災メモリアルパーク(神戸市)などで開かれた。

北京五輪開会式で同様のパフォーマンスを手掛けたアートディレクター、水谷孝次さん

(59)が主催。「子どもたちの笑顔は世界の希望です。3、2、1」。掛け声に合わせて、参加した高校生や大学生ら約50人が傘を開くと、鮮やかな笑顔が一斉に広がり、集まった観客から歓声が上がった。

写真は水谷さんが阪神大震災や四川大地震などの被災地で撮影した。神戸市長田区の中

(14)は4歳当時の写真が印刷された傘を手に参加。長田区で被災した母親の徳子さん(40)は「震災後に生まれた娘が家族にとって希望でした」と語った。

水谷さんは「神戸は初めて『負の遺産』を舞台上で撮影した場所。不安もあったが、屈託のない子どもたちの笑顔に救われた」と話した。

学2年、近藤穂花さん